

## まかせて会員さんのことば

ファミサポへの援助依頼が増え続けている今、できるときにできることを行う、互いに助け合う援助スタイルが求められています。

地域の方に助けられた感謝を胸に、自然体で地域に愛を還元されているお二人の姿勢は、次の世代へ素敵なバトンを渡しています。

### 日常生活の延長線上にある活動を

#### まかせて会員 橋川 祥代さん



娘さんが0歳の頃、子育てサークルで出会ったママ友に誘われて、まかせて会員養成講座を受講。娘さんが幼稚園の頃には、どっちも会員として援助を依頼。仕事の打ち合わせの時などに、預かってもらったり、幼稚園バスのバス停からそろばん教室まで送ってもらったりしていました。

まかせて会員の活動は、日常生活の延長線上にある活動であればいいと思っています。我が子を保育園にお迎えに行ったついでに、お隣のクラスのお子さんもお迎えして、一緒に帰ってくるような共助のイメージです。

我が家では夫の理解も大きく、時間が合えば、おねがい会員さんのお子さんと一緒に普段通りに食卓を囲んでくれます。現在中学3年生の娘も一緒に活動を行ってくれています。年下の子とうまく接することができ、小さいお子さんに慕われている様子を見ると、とても嬉しく思います。

私自身はファミサポの活動がきっかけで、「子どもが好きだ」ということに改めて気づき、40歳を過ぎて保育士免許と幼稚園教諭免許を取得しました。今ではその資格がセカンドキャリアに役立っています。

家族の理解や仕事とのバランスなど、まかせて会員ができる環境があることは幸せなことです。そこに感謝しながら、これからも活動を続けていきたいです。

### 喜びと共に地域で支え合う

#### まかせて会員 松本 陽子さん



今から12年前にまかせて会員養成講座を受講。当時2歳だった娘さんと一緒に、近所のそろばん教室への送迎のサポートを経験。第2子出産後は、どっちも会員として援助を依頼。長女の園行事の時などに、第2子を預かってもらっていました。

まかせて会員になったきっかけは、出産し、子育てをしている中で、子育てをしながらでも何か社会貢献をしたいと思ったからです。今、行っている主な活動は、保育園や習い事への送迎、自宅での預かりです。

預かる子どもたちとは、お散歩をしたり、しゃぼん玉をしたり、おもちゃで遊んだりします。泣いていた子が一緒に遊ぶことで笑顔になる時や、保護者の方がお迎えに来た時に、「こんなにすぐに慣れて！楽しく過ごすなんて驚きです」と喜んでくれる時や、「松本さんのお陰で、安心して仕事が出来ます」といった声をいただいた時に、とてもやりがいを感じます。

子どもたちは、「次、赤ちゃんいつ来るの？」と聞いてきます。夫は「一番、人助けになる活動だな」と、とてもプラスに思ってくれています。

まかせて会員の活動は、おねがい会員さんを援助するだけでなく、自分自身も成長できる活動だと思います。これからも楽しんで活動を続けていきたいです。



## 今、「ありがとう」を伝えたくて

～ 出会って10年、おねがい会員さんが伝えられた感謝の言葉をご紹介します ～

【おねがい会員】丹羽 やよいさん・幸月良さん  
【まかせて会員】神原 育代さん

#### 【出会い】

ひとり親家庭を支えてくれていた丹羽さんのお母さんが病気になる、困り果てた丹羽さんが市に相談。ファミサポの存在を知り、幸月良さんが6ヶ月の時に神原さんとマッチングしました。

#### 【援助内容】

夕方の忙しい時間帯に自宅に来てもらい、幸月良さんのお世話をしてもらいました。それからずっと、成長を見守る大切な存在として、交流をお願いしています。

幸月良さんの成長を見守ることができたこと、何より、幸月良さんが私と遊ぶのを楽しみにしてくれていることに、この上ない喜びを感じます。もう少しの間、幸月良さんと楽しい時間を過ごすことができればよいと思います。

～ 丹羽さんより ～

神原さんがいなければ、私も母も共倒れになっていたと思います。息子の成長は神原さんと共にあり、本当に感謝しかありません。ミルクを飲ませてもらったり、オムツを替えてもらったり…。成長を支えていただき、今年で10年になりました。

息子にとって、神原さんは大切な存在です。学校から帰ると、「今日、神原さん来る？」と、神原さんが来る日を待ち侘びています。

いつか離れる日が来ても、このご縁を息子はきっと一生忘れないでしょう。神原さん、いつもありがとうございます。あともう少し、よろしくお願いします。



まかせて会員  
神原 育代さん

幸月良さん